

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S3 -	施策名	幸せのモノサシづくり事業			
担当部課	市長公室経営企画課		関係部課			
基本情報	総合計画	基本方針	—			
		分野別項目	—			
		施策の進め方	—			
	まちづくり行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～		
		政策分類	1	住民の力を生かした新しい役割分担の仕組みをつくる		
その他(関係法令、要綱等)	—					
施策開始の背景、経緯等	これまでの右肩上がりの経済成長を追求してきた社会とは異なり、心の豊かさや幸せ実感を実現していく時代となった。市民一人ひとりの幸福度が高いまちを目指し、市民自らが地域のことを考え、地域の困りごととは自分たちで解決していくため、地域社会の状況や、まちづくりの方向性を確認する独自の指標が必要があるため。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 市民の生活実感や幸福度を調査・研究し、市独自の指標をつくり、その活用を図る。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 長久手の幸せ実感を高める市民主体のまちづくりを推進する。				
	施策に係る主なコスト	① 幸せのモノサシづくりアドバイザー報酬金	136千円	② 特別旅費	106千円	
目標・成果推移	A	28年度	29年度	30年度	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		目標	目標	目標	目標	目標
	幸せのモノサシの策定	市民協働で幸せのモノサシを策定する。	—	—	—	—
		実績	実績	—	—	—
	B	28年度	29年度	30年度	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		目標	目標	目標	目標	目標
	幸せのモノサシの活用	—	周知のための講演会を実施し、リーフレットを制作する。	・第6次総合計画への反映を図る。 ・幸せにつながる活動を行う市民を取材する取組を、市民自らが企画し、継続して行う。	幸せにつながる活動を行う市民を取材する取組を、市民自らが企画し、継続して行う。	・市民意識調査への反映 ・幸せにつながる活動を行う市民を取材する取組を、市民自らが企画し、継続して行う。
		—	幸せのモノサシについて知って、考えてもらうための講演会を実施し、リーフレットを配布した。	—	—	—
環境変化	他市町での取組状況や施策を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 県内では本市のほか、安城市、高浜市、一宮市が住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合(幸せリーグ)に加入し、幸福度に関する調査・研究を行っている。				
改善状況	前年度からの改善点	(何をどのような状態に改善したのか) 市民と市が役割分担しながら、リーフレットの制作や講演会の企画・運営に取り組んだ。				
評価	目標達成状況	(目標・成果推移に対する達成状況や進捗状況など) 市民協働でモノサシづくりにじっくり取り組んできたことによって、自分たちがつくったモノサシを広めようと、市民の主体的な行動につながり、リーフレットや講演会についても市民協働でつくりあげた。				
	課題	(目標達成状況を踏まえ、課題を整理) 市民自らの意思による活動の継続。				
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 幸せにつながる活動を行う個人・団体への取材の取組が、市民主体で継続していけるように支援する。				